

OTARU UNIVERSITY OF COMMERCE



小樽商科大学広報誌

vol.192

2022 AUTUMN

GAKUEN DAYORI

小樽商科大学 学園だより



● CONTENTS ●

三大学経営統合にあたって.....	1
新副学長紹介.....	2
新入生歓迎講演会.....	2
新任教員のご紹介.....	3
創立百十周年記念募金ご寄附者ご芳名	3
公益社団法人 緑丘会の紹介	4

第70回緑丘祭・第31回緑宵祭を開催しました! ..	5
夜桜ライトアップを行いました!	6
キャリア支援センター開催イベント.....	6
飲酒について正しく知っておきましょう	
— 飲酒にまつわる Q & A —	7
ピアサポートルームのお知らせ	7
編集後記 / ブログ「商大くんがいく!」	7



齋藤副学長

江頭副学長

穴沢学長

鈴木副学長

片桐副学長

沼澤副学長

三大学経営統合にあたって

2022年4月1日に4年間の準備期間を経て、本学、帯広畜産大学、北見工業大学の三大学が経営統合を果たし、新たに国立大学法人北海道国立大学機構が発足しました。これまで試験的に三大学で科目の相互配信などを行っていましたが、いよいよ正式にすべてが始動することとなりました。

三大学は道内とはいえ距離的に離れており、その克服が大きな課題となります。最新の通信技術の導入や柔軟な発想によりこの課題に挑みたいと思います。そして教育、研究面でそれぞれの個性をいかし共に発展したいと思います。

経営統合により、機構本部に役員会が設置され、長谷山理事長、三大学の学長（総括理事）、常勤、非常勤の理事の計6名により構成されています。監事については法令により4名を配することとなっており、常勤1名、非常勤3名の監事が職務にあたっています。また、本学に3名いた理事は学長のみとなりました。以前の理事・副学長2名、副学長1名体制から副学長5名体制へと学内の執行部体制を改組しました。これまで理事の先生方には広範な学内業務を担当して頂いていた。これを役割に応じて分割するとともに、新たに設けた運営戦略会議（構成員は学長、副学長、事務部長）で情報共有を密にする形となりました。

機構本部には役員会、経営戦略会議、教育研究連携評議会、経営協議会などの機構全体を所掌する会議が設置されました。これに伴い、本学の経営協議会はなくなりましたが、学外からの意見を頂く組織としてアドバイザリーボードを新たに設けました。また、機構本部には法定の8つの委員会（危機管理委員会、コンプライアンス推進委員会、ダイバーシティ推進委員会、懲戒審査委員会、情報公開・個人情報保護審査委員会、安全衛生統括委員会、ハラスメント対策委員会、施設マネジメント統括委員会）も設置され、重複する学内の委員会は廃止となりました。

経営統合による事務の効率化も三大学経営統合の目的の一つです。機構本部には主に総務、企画、会計関連業務が集約されることとなり、本学からも8名の職員の方々に異動して頂きました。また、学内の部署も企画戦略室は総務課に統合され、企画・総務課となり、会計課は管理課に名称変更されました。

本学は北海道国立大学機構のメンバーとして新たな船出を果たしました。これからも社会科学系の単科大学としての特徴をいかし、機構のミッションである北海道の経済発展に資する教育、研究に全力を傾けます。

国立大学法人北海道国立大学機構
小樽商科大学長

穴沢真

新副学長紹介

総務・財務担当副学長

えがしら すすむ
江頭 進

滋賀大学経済学部卒
京都大学大学院経済学研究科博士後期課程修了
研究分野 / 経済思想史、進化経済学、地域経済学
平成22年～小樽商科大学商学部経済学科長
平成24年～学長特別補佐
平成28年～理事・副学長
令和4年～現職

教育・入試・国際交流担当副学長

すずき まさふみ
鈴木 将史

北海道大学文学部卒
北海道大学大学院文学研究科修士課程修了
研究分野 / ドイツ文学・ドイツ文化
平成14年～小樽商科大学言語センター教授
平成22年～言語センター長
平成26年～理事・副学長
令和4年～現職

大学評価・産学官連携・オープンイノベーション担当副学長

さいとう いちろう
齋藤 一郎

東北大学経済学部卒
北海道大学大学院経済学研究科修士課程修了
研究分野 / 商学・金融・ファイナンス・公共経済・労働経済
平成17年～小樽商科大学大学院商学研究科准教授
平成20年～大学院商学研究科教授
平成31年～大学院商学研究科アントレプレナーシップ専攻長
令和4年～現職

学生支援・多様性担当副学長

かたぎり ゆき
片桐 由喜

北海道大学法学部卒
北海道大学大学院環境科学研究科博士前期課程修了
研究分野 / 社会法学
平成18年～小樽商科大学企業法学科長
平成30年～学長特別補佐
令和3年～大学院商学研究科現代商学専攻長
令和4年～現職

デジタルトランスフォーメーション・学術研究担当副学長

ぬまざわ まさのぶ
沼澤 政信

北海道大学工学部卒
北海道大学大学院工学研究科情報工学専攻博士後期課程修了
研究分野 / 学習支援システム・知能情報学・ソフトウェア
平成28年～小樽商科大学商学部教授
平成31年～商学部社会情報学科長
令和3年～学長特別補佐
令和4年～現職(グローバル戦略推進センター教育支援部門長兼務)



令和4年度新入生歓迎講演会を開催

令和4年5月27日(金)に、令和4年度新入生歓迎講演会を開催しました。

この講演会は、有識者の方に現代社会の潮流及び諸問題等についてご講演いただくことを通じ、これからの大学生活をいかに過ごすかを考える機会を提供することを目的として実施しているものです。

今回は、豊橋技術科学大学 情報・知能工学系 教授の岡田 美智男氏を講師に迎え、「＜弱いロボット＞的思考のすすめ」と題してご講演いただきました。

岡田教授からは、自分一人では何もできないロボットを通じて、今後偶発的に起こる事象のポジティブなものへの捉え方や、自立するとはどういうことなのか、など考えるきっかけをいただき、また、これから社会へと旅立つ学生達に向けて、力強いエールをお送りいただきました。

今回の講演会は、同時時間帯に通常開講している1年生配当科目の代替講義として160講義室を使用し、1年生をはじめ、上級生も含めて200名が受講しました。



新任教員のご紹介

①出身地（県・市）②研究分野 ③担当授業科目 ④趣味
⑤商大に着任しての感想 ⑥商大生に期待すること

令和3年5月～令和4年4月に着任された、6名の教員の方を紹介するよ！みんな、先生方の名前と顔を覚えてね！



商学科 ^{おさむら}長村 ^{ともゆき}知幸 講師

- ①北海道札幌市 ②商学、経営学 ③市場システム論I、地域ブランド論、地域活性化システム論、研究指導
④和菓子屋めぐり、ドライブ、読書 ⑤光栄です。商大に恩返しができるように日々精進します。
⑥商大という素晴らしい環境で、ともに学んでいきたいです。



商学科 ^{きだ}木田 ^{せかい}世界 准教授

- ①神奈川県横浜市 ②経営学、経営組織論、企業と社会論 ③経営学原理、経営組織論、研究指導
④写真撮影、テニス、旅 ⑤落ち着いたキャンパスですね、意外に暑いですが…。歴史ある大学ですので同僚の先生方やOGOBの方々の歩みから多くを学べばと思います。
⑥経営学は実践的な学問なので、日々聞くニュースや買い物をする時に見る商品など日常経験について、授業で習った理論を思い出しながらかちょっと考察する習慣をつけると良いと思います。



言語センター ^{くおん}権 ^{うんひ}恩熙 准教授

- ①韓国、仁川広域市 ②社会言語学（言語接触、言語継承） ③韓国語、言語学
④草花ウオッチング、PowerPoint スライドデザインの研究
⑤学生たちが活気溢れていてチャレンジ精神も旺盛な気がして、見ているとエナジーをもらいます。日常と非日常が混在する緑あふれる港町で研究できるのも幸せです。
⑥常にもっと高い場所、もっと広い世界を目指し、不安でもまず一歩踏み出してみる姿勢を持ってほしいです。当たって砕けよ！



アントレプレナーシップ専攻 ^{あさひ}筈井 ^{しゅんすけ}俊輔 准教授

- ①滋賀県栗東市 ②経営学、組織論 ③ケーススタディI、II ④散歩、ハイキング
⑤伝統校ながらも、新しい取り組みにチャレンジしている独創的な大学だと感じています。
⑥自身とは異なる環境で生まれ育った人々と出会い、色んなことを話し学んでください。



アントレプレナーシップ専攻 ^{いずみ}泉 ^{よしつぐ}貴嗣 准教授

- ①神奈川県藤沢市 ②サステナビリティ経営、ソーシャルビジネス、企業倫理
③エシカル・アントレプレナーシップ、ビジネスプランニングI・II、リサーチペーパー ④ネコ観察
⑤大学院 MBA コースの担当教員ですが、社会人大学院生と学生のコラボレーションを楽しみにしています。
⑥どんなにビジネススキル・知識があっても、倫理感がなければそれを悪用して自分を危地に追い込みます。学問を通じて倫理感を高める努力をしましょう。



グローバル戦略推進センター産学官連携推進部門 ^{ふじえ}藤江 ^{みのる}稔 准教授

- ①石川県金沢市 ②産学官連携、スタートアップ ③なし ④スポーツ観戦、ゲーム、ランニング、読書
⑤小樽は思った以上に魅力的な良い街だし、その中にある商大の良さをみんなに知って欲しい。
⑥「起業」「スタートアップ」に関心のある方、仲間を探している方はぜひご連絡ください。それを支援するために商大に来ましたし、起業を目指す学生を支援するためのイベントなどを企画したりしています。

創立百十周年記念募金ご寄附者ご芳名

本学では、令和3年7月に創立百十周年となり、本学同窓会と連携し募金活動を実施しました。ご寄附は目標額を超えます1億3,900万円以上をいただき活動を終えました。

ご賛同いただいたたくさんの方々のご厚誼に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

国立大学法人小樽商科大学 創立百十周年記念募金 ご寄附者ご芳名（敬称略・五十音順・匿名ご希望の方は除く）

（令和4年1月以降のご寄附者）

個人の部

栗村 敏

法人の部

こだま交通株式会社 株式会社新倉屋

公益社団法人 緑丘会の紹介

公益社団法人 緑丘会 常務理事 事務局長
永井 健夫（1976 年卒業）



学生の皆さん、こんにちは。コロナ禍もまだ予断を許さない状況ですが、徐々に対面授業やクラブ活動も開始され、学園生活にも光明が射してきたようにも感じております。

是非とも明るく元気に充実した学園生活を過ごされるよう願っております。

さて、これから小樽商科大学同窓会『緑丘会』の紹介をさせていただきます。

緑丘会は小樽商科大学卒業の同窓生で組織されており、80年以上の長い歴史と伝統を持ち大学及び学生への助成や卒業生間の親交を深めて参りました。

緑丘会は大きくは三つの活動を行っております。

一つ目は学生への就職支援です。200社以上の企業を大学にお招きして行う就職活動のための「企業等セミナー」や東京での「就活体験会」を学生支援課と協力して実施していますが、コロナ禍でここ2年間の企業等セミナーはオンラインでの開催となりました。また、学内に就職支援室を設置し、商大OB・OGによる就職に関する相談をお受けしております。更には、皆さんのキャリア形成の一助としてエバグリーン講座の内容をまとめた「社会人基礎力白書」の発行も行っております。

二つ目は資金援助です。TOEIC・IPテストの受験費用、就活のための無利子での資金貸与、留学生への奨学金授与などを行っており、小樽商科大学後援会と併せて年間2,000万円以上の助成を行っております。

三つ目はOB・OGによる講座の提供です。「エバグリーン講座」と「グローバルマネジメント副専攻プログラムⅡ」への講師派遣を行っております。

また、これ以外にも同窓会報『緑丘』を年2回発行しており学生の皆さんにも郵送しております。この会報には若手OB・OGや学生が執筆するコーナーがありますので、ご寄稿をお待ちしております。

ここまでは、皆さんが在学中に緑丘会と関わる内容ですが、卒業後は同窓生同士の交流や人脈を拓ける場が用意されております。北海道、東北、関東、東海、京阪神、福岡など全国に24の支部があり皆さんをお待ちしております。各支部では講演会、芋煮会、バーベキュー大会、忘年会、新年会、女子会など各種イベントで皆さんをお迎えし研鑽・親睦を図っております。特に5年前からは東京にて主に平成二桁卒業以降の若手を対象とした「緑丘ビジネス塾」を開講しております。各界で活躍されている同窓の先輩が講師となり、社会人としてのキャリアアップのために示唆に富んだメッセージを語ってくれます。現在はコロナ禍もあり、オンラインと対面のハイブリッド方式で全国に向けて講師のお話を届けます。また、札幌支部では若手OB・OGが講師となり「オンラインセミナー」をスタートさせております。

『小なれど固い絆の同窓会』です。就活やプライベートでも東京に来られる際には、日本一高い場所にある、「池袋サンシャイン60」57階の緑丘会館まで気軽にお立ち寄り下さい。スタッフ一同お待ちしております。



緑丘会館内部全景



第18回ビジネス塾（ハイブリット方式）2022.3.12

第70回緑丘祭 第31回緑宵祭

6月23日～24日に第31回緑宵祭(夜間主コースの大学祭)が、
6月25日～26日に第70回緑丘祭(昼間コースの大学祭)が開催されました。

今回は、そのうち緑丘祭について取り上げています。

3年ぶりの対面開催となり、大盛況となった緑丘祭。一体どんな舞台裏があったのでしょうか?

今回は緑丘祭実行委員会委員長、**金瀧 桃佳さん**に今年の緑丘祭について
語っていただきました!

緑丘祭のテーマについて語っていただけますか?

第70回緑丘祭では「SAIKAI ～再びこの場所で～」というテーマを設定しました。このテーマには、一昨年は中止、昨年はオンライン開催となった緑丘祭を3年ぶりに対面で再開し、来場される皆様と再会しようという委員の想いが込められていました。私たちはこのテーマのもと、第70回緑丘祭を創り上げました。

3年ぶりの対面での開催でしたが、盛り上がりはどうでしたか?

人数的には3年前の第67回緑丘祭と同じくらい多くの方々にご来場していただきました。さらに、OB・OGの方々からも「例年と変わらない緑丘祭が開催できていて驚いた」といったお言葉をいただき、大変盛り上がりしていたのではないかと感じています。

たくさん、苦労したこともあったのではないのでしょうか…?

いちばん苦労したことは、私をはじめ委員全員が対面の緑丘祭を初めて経験したこと、そして1・2年生が54人に対し、3年生が7人という少人数だったことです。しかし、残してくださっていた3年前の引継ぎを読み込んだり、実際に緑丘祭を経験したことがある先輩方にお話を伺ったりなどして、なんとか対面の緑丘祭を創り上げることができました。

それでは最後に、緑丘祭の魅力!と、これからの緑丘祭について語っていただけますか?

緑丘祭の魅力は、企画数が多いことです。ステージ企画・屋内企画・屋外企画・出店などが常に行われていますので、いろいろな楽しみ方ができます。

次の第71回緑丘祭では、後輩たちが、第70回緑丘祭を踏まえて、さらに進化した素晴らしい緑丘祭を創ってくれると思います。来年もぜひお越しいただければ幸いです!

最後になりますが、第70回緑丘祭では、大変多くの方々に支えられ、無事に再開し、終えることができました。誠にありがとうございました!!

金瀧 桃佳さん、素敵なお話をありがとうございました!



小樽笑店

夜桜ライトアップ を行いました！

小樽笑店は、「関わる全ての人を笑顔にする」をモットーに、自主イベントの企画運営やボランティア活動を行っています。現在のコロナ禍では、感染対策を徹底しながら活動しています。

4月には、本校の桜を装飾・ライトアップしました。手作りした装飾品の小さな灯りが、桜を綺麗に彩っていました。昨年は叶わなかった一般公開も条件付きで行うことが可能になり、美しい夜桜を本学の方々に見てもらうことができました。写真部の方々にもご協力いただき、素敵な写真を撮っていただきました。

小樽笑店の活動情報は、SNSで更新中です！よかったらチェックしてみてください😊

Twitter アカウント @otarushoten



キャリア支援センター開催イベント (2022年9月～2023年3月開催分)

キャリア支援センターでは、学生のみなさんが描いたキャリアプランを実現できるよう進路選択に関する様々な支援を行っています。特に就職活動支援では、就職活動がスムーズに進むように様々なガイダンス・セミナーを開催し、就職活動本番へ向けての準備をお手伝いしています。ぜひ積極的に参加してください。



月	日	事 項
9	28	第2回就職ガイダンス
10	5	留学生対象就職ガイダンス
	11	ミニ公務員ガイダンス
	14	SPI 対策講座
	19	公務員ガイダンス・国立大学法人等職員ガイダンス
	26	緑丘企画講座④ ES 対策・志望動機
11	2	業界研究セミナー① (金融業界)
	9	業界研究セミナー② (まちづくり関係業界)
	15	公務員座談会

月	日	事 項
11	16	業界研究セミナー③ (インフラ)
	30	緑丘企画講座⑤ 面接対策講座
12	7	緑丘企画講座⑥ ワークルールセミナー
	14	2022 冬 インターンシップ合同説明会
	21	国家公務員業務説明会
1	11	まだ間に合う就活ガイダンス
	18	緑丘企画講座⑦ 就職活動に向けて (仮)
2月 (予定)		キャリア形成支援のための緑丘企業等セミナー開始 (参加企業 200 社以上を予定)

※スケジュールは諸事情により、開催日及び内容が変更になる場合があります。

PICK UP!

各種企画講座

就職活動支援のために各種対策講座を開催しています。講座の内容には、インターンシップ・エントリーシート・面接の対策講座、就職活動直前対策講座等があります。

業界研究セミナー

同一業界から3社のパネルをお招きし開催しています。今年度も11月から3回に分けて開催します。今年度は、金融、まちづくり、インフラの業界セミナーを実施予定です。

公務員関係

公務員ガイダンスでは公務員試験の種類・試験制度・勉強内容・試験スケジュール等を説明します。公務員座談会では試験に合格した先輩達の体験談を聞くことができます。

緑丘企業等セミナー

学内で開催する合同企業説明会です。商大生の採用に積極的な200社以上の企業が全国から集まります。就職活動を控えた3年はぜひ参加してください。1・2年の参加も可能です。

保護者連絡会のご案内

大学と学生保護者との連携を築くことを目的として、保護者連絡会を毎年開催しています。本学の就職事情を中心に情報提供するとともに、個別相談も受け付けます。

なお、開催時間、プログラム、申込方法等の詳細については、後日お送りするご案内ハガキもしくは大学ホームページをご覧ください。

開催日：令和4年10月1日(土) 13:00～15:00

場 所：小樽商科大学(小樽市緑3丁目5番21号)

参加対象：1・3年の保護者

※令和2・3年度はオンラインで開催していましたが、今年度は対面で開催予定です。



▲令和元年の保護者連絡会より

飲酒について正しく知っておきましょう

飲酒にまつわる
Q & A



Q お酒を飲んではいけない人は？

A

20歳未満の人

代謝が未熟でアルコール中毒になりやすい、短期間で依存になりやすい、性機能の低下の他、様々な心身への悪影響があります。

ALDHの活性がない人

アルコールの分解のできるアセトアルデヒドの分解ができない人です。アセトアルデヒドによる有害作用が起こりやすいので飲んではいけません。

これから自動車やバイク、自転車の運転をする人

飲酒運転は厳禁です。

これらに該当しなくても、自分で「飲まない」と決めている人にお酒を進めるのはアルコールハラスメントになりますので飲まない意志を尊重しましょう。

Q お酒は飲んでいっているうちに鍛えられて、お酒に強い体になる？

A

長期間飲酒していると、同じ飲酒量では酔いにくくなることもあり強くなったと思いがちですが、脳がマヒして感覚が低下している耐性という状態で、強くなったわけではありません。肝臓の分解能力が上がるわけではありませんので、身体への悪影響は低減しません。

Q 適度に飲んだ方が体にいいってホント？

A

全く飲酒しない人よりも適度に飲んだ方が死亡率が低いという研究結果は40-50代が対象となったものです。大学生の年代は飲酒量に比例して死亡率が上がります。

Q 適量ってどのくらい？

A

最近の報道等で「男性40g以上、女性20g以上」が「生活習慣病のリスクを高める飲酒量」と示されますが、これ未満が適量という意味ではありません。節度ある適度な飲酒は男性で20g、女性で10gといわれていますが、がんなどのように飲酒量に比例してリスクが上がる疾患もあります。

若者の事故も飲酒量に比例して増加しますので、飲酒量は少ない方が安全です。アルコール飲料の表記が純アルコール量(g)に変更されてきていますので、飲酒の際は成分表示を確認して安全な飲酒を心がけましょう。

Q 私の飲酒は大丈夫？

A

自分の飲酒行動が健康を害するような状態になっていないかどうかを確認するAUDITというテストがありますので、飲酒をする人はチェックしてみましょう。テストは次のサイトで見ることができます。

<https://www.e-healthnet.mhlw.go.jp/information/dictionary/alcohol/ya-021.html>

ピアサポートルームのお知らせ

Q1 商大ピアサポートってそもそも何ですか？

ひと言で言うならば「学生の、学生による、学生のための支援活動」です。

学生が学生の相談に乗るため、心理的な壁のない近い距離で向き合えると考えられ、教職員には相談しにくいことも打ち明けやすいといったメリットが期待されています。

Q2 商大ではどこで行っていますか？

本学では、3号館1階ピアサポートルームで行っております。

個性豊かなピアサポーターが、学生生活の色々な悩みに一緒に向き合います。

またピアサポートルーム自体は、悩み相談以外でも、勉強や食事の場所として開放しています。どなたでもぜひご利用くださいませ。

例

大学生活になじめない
勉強への意欲や目的意識がわからない
自分の在り方や性格について考えたい
卒業後にやりたいことが見つからない 等々

Q3 最近はどんな活動をしましたか？

7月14日に「ぴあパーティ」を行いました。

ゲーム大会・お菓子作りをメインに、商大生向けの息抜きイベントとして開催しました。

手探り状態での運営でしたが、来てくださった学生に楽しんでもらえたと考えております。

今後もぴあパーティだけでなく、様々なイベントを企画予定ですので、良ければご参加ください！

編集後記

今回も多くの方にご協力いただき、無事学園だよりが完成しました。この場をお借りして感謝申し上げます。今後も、商大生の活動の様子やさまざまな情報を発信していきますので、掲載してほしいトピックがありましたら、学生支援係までご連絡ください！
(学生支援課)

小樽商大の新鮮な情報を発信！

ブログ「商大くんがいく！」

商大職員と学生がタッグを組んで作っている「商大くんがいく！」ブログでは、商大生の活躍はもちろん、学内のさまざまな旬のトピックスがご覧になれます。

https://www.otaru-uc.ac.jp/shoudai_blog/

